

平成30年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市民会館
所在地	加西市北条町古坂1丁目1番地
担当課	文化観光スポーツ課
主要施設	敷地面積7,970㎡ 延床面積5,982㎡ (文化ホール2,987㎡、コミュニティセンター2,995㎡)

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス (旧株式会社ケイミックス)
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	53,853,000円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用人数	利用料収入
文化ホール	358件	26,356人	2,721,545円
コミセン	4,578件	66,008人	2,734,010円
自主事業	10回	6,074人	—
開催講座	49講座	1,289人(延5,579人)	—

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	A	今年度は総利用件数及び利用人数共に、それぞれ前年度比約90%、約96%となったが、これは、前年度に市制50周年記念行事が多数開催された影響と考えられる。 自主事業にも工夫を凝らし、積極的に新規講座を開催し、受講者数も昨年比137%に増加するなど、好評を博した。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	A	利用者の苦情・要望にも迅速かつ丁寧に対応し、市担当課への報告も適切に行われている。 皆が、障がい者や高齢者等への配慮を常に意識されており、来館者には気持ち良い挨拶や適切な対応ができている。また、利用申込については、先着順のルールを守って対応されている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	A	法令を遵守し、本社の指導監督のもと職員研修、消防訓練や設備点検等を適正に実施し、接遇研修、個人情報保護研修の実施や、サービス介助士の資格者が増員されるなど、質の高い管理運営を行っている。 館内の清掃管理も行き届いており、委託業者によって施設は常に清潔に保たれている。 市担当課への連絡については、月例報告以外にも、設備や事業等の細やかな報告・相談がなされており、市からの確認事項も速やかに回答が得られるなど、十分な連携が図られている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。 利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		

業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		
評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	物品の購入は、やむを得ない事情がない限り、市内業者を利用するよう努めている。 また「トライやるウィーク」など、市主催事業へも協力的であり、自主事業における公演や講座について、市民ニーズを捉え、質の高い公演を低価格で開催するなど、地元貢献についても積極的である。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。 雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	光熱水費等の固定経費や備品・消耗品の購入については、常にコスト意識をもって対応しており、今年は漏水があったにも関わらず、前年を上回る収益をあげた。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。 指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	A	年間を通じ、常に丁寧で迅速な報告等により市との連携を密に図り、研修等を通じ、職員教育も徹底されている。 また、自主事業の前座に地元団体の出演を実現させるなど、創意工夫もみられ、収益の増に繋げている。 現場はもちろんのこと、本社も含めて質の高い管理運営については、評価に値する。

【今後（次年度以降）の課題等】

来年度はコミュニティセンター部分の耐震改修工事が始まり、年度途中からは文化ホールのみ開館となるため、利用者との調整や自主事業用開催についてもイレギュラーな運営となり、文化ホール単体での事業運営にも困難が予想される。
市との連携を密に図りつつ、影響を最小限に抑える効果的な施設活用と市民ニーズに応じた事業展開に期待したい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成30年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市立善防園
所在地	加西市西笠原町172-142
担当課	地域福祉課
主要施設	敷地面積8411.54㎡ 延床面積939.39㎡

2. 指定管理者

指定管理者	社会福祉法人加西市社会福祉協議会
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	101,400,000 円

3. 施設の利用状況

施設名	開園日数	延利用者数
善防園	256	11,442

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	利用率はほぼ横ばい状態。生活介護利用者の障害支援区分が重度化傾向にあり、体調により出席できないこともあることから、利用率が若干減少した。 自主事業であるガーデンパーティーの開催は例年通り実施し、加えて創立30周年記念パーティーを開催した。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	利用者の障害の特性に応じた空間づくりや、作業環境の改善を図り、居心地の良さ、作業効率アップにつなげている。利用者や保護者に対し、アンケート調査も実施し、高い満足度を得ている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	人員配置は、国の配置基準を満たしており、サービスを提供するにあたり、十分な体制を確保している。事業所内の研修を18回実施し、事業所外の研修にも34回参加するなど、職員資質の向上に努めている。 設備についても、トイレ改修、ブロック塀改修等を行い、事故防止や衛生環境の改善を図った。 施設周囲の環境整備については、職員による剪定や草刈り等を実施するとともに、保護者会による奉仕作業により清掃活動を行った。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	A	ガーデンパーティーを開催し、利用者、保護者、ボランティア、地域住民の交流を図った。ボランティアグループの協力を得ながら、余暇活動の充実を図った。雇用についても市民の雇用をできる限り推進した。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。 雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	年間29回のバザーに出店し、収入増に努めた。また、備品購入については、競争入札をするなど経費の削減にも努めた。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。 指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	利用者の持つ障がいの特性に配慮することを一番に考え、地域住民やボランティア、保護者の協力を得ながら事業運営に取り組んでいる。利用者一人一人の意思決定を大切にし、できる限り本人の望む支援を実施している。

【今後（次年度以降）の課題等】

利用者も年々高齢化が進んでいる。また、障害の程度も重度化してきている現実を踏まえ、その状況に応じた支援が望まれる。これらに対応した研修の実施や、職員配置について考慮する等の対策をお願いしたい。また、建築から30年が経ち設備の老朽化も進み始めていることから、適切な修繕を行っていかなければならない。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成30年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市古法華自然公園研修施設
所在地	加西市中山町、東剣坂町、西長町
担当課	農政課
主要施設	敷地面積 約150ha 研修センター、公園施設

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	6,980,000円

3. 施設の利用状況

施設名	市内利用者	市外利用者	合計
キャンプ場	332	19,878	20,210
B B Q場	637	4,826	5,463
ウォーキング等	-	-	56,320

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	A	キャンプ場の市内利用者は前年度比2.8倍、市外利用者は前年度比1.6倍増加している。B B Q場の利用者は市内外ともに微増している。GW等のイベント前には、HPで随時告知、現地でチラシを配布することにより、200名の参加者を集客した。事前に市と情報共有すべき課題もあったが、広大な施設を利用者が快適に過ごせるように管理されている。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設を設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	平成26年度よりアンケート調査を開始し、利用者の苦情対応については誠実に対応ができています。利用者が利用しやすい環境づくりは適切に行われている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	施設の管理運営については、適正な人員配置を行い、GW等の長期休暇時に必要な人員を集中して配置し作業に当たっている。特に樹木の伐採及び除草剪定作業により、良好な景観整備に貢献したことは評価できる。平成29年度に建設した炊事棟について、使用後に残飯を放置したまま帰る利用者がいるので、毎月の清掃を増やす等の対応をした。緊急時の対応等も特に問題なく、報告もされている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報が適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	
4. 地域貢献	A	GW中には、地元野菜の販売、親子で取り組めるワークショップ等を実施し市内外からの集客に貢献している。昨年度同様、ハイキング大会を企画するなど、積極的に市と連携している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。 雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	無料施設であるため、増収対策は見込めないが、計画的に自主事業に取り組んでいる。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。 指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	広大な施設の管理運営について、ある程度対応できているが、平成29年度に新設した炊事棟の維持管理について、毎月の清掃回数を増やす等の対応をしたが、引き続き注意深く維持管理に取り組んでいく必要がある。

【今後（次年度以降）の課題等】

- ・ 利用者のアンケート結果に基づき、より良好な公共施設となるよう運営管理に反映させていくこと
- ・ 積極的に広報活動に取り組み、地域と連携したイベントを開催して、古法華自然公園の良さを市内外に発信していく
- ・ 利用者の増加に伴い、キャンプ場以外でキャンプをしている利用者があるため、1日のキャンプ場内のテント設置数を30に制限し、キャンプサイト以外の場所に注意看板を設置する。

【各項目の評価】

S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。

A：協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。

B：概ね協定書等のおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。

C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。

D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

S：各項目の評価がA以上でSを含む場合

A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合

B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合

C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）

D：各項目にDが含まれる場合

平成30年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市都市公園
所在地	市内12カ所
担当課	都市計画課
主要施設	丸山総合公園、ハイツ第1公園、ハイツ第2公園、さつき公園、朝妻公園、曾根公園、吉本公園、網引公園、常吉ふれあい公園、井ノ岡公園、大坪公園、網引緑地

2. 指定管理者

指定管理者	神姫バスグループ共同事業体
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	16,000,000円

3. 施設の利用状況

施設名	許可申請件数	利用人数
丸山総合公園	54	28,664
ハイツ第2公園	73	2,566
朝妻公園	556	10,543
吉本公園	33	2,610
さつき公園	2	40
合計	718	44,423

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	A	公園の利用者数は前年度に比べて増加している。 自主事業については、季節に応じたその時々々の自然環境を活かし、子供からお年寄りまで幅広い年齢層が気軽に参加できるように企画することにより、公園利用者の増加へのきっかけづくりに取り組んでいた。概ね事業計画どおりに実施できていた。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	イベント開催時には、市広報、ホームページのほか、リーフレットを作成し市内集客施設に配布しPRを実施していた。園内のご意見箱に寄せられた来園者の声は、すべて回答を掲示している。苦情については市都市計画課と連携して迅速な対応を行っていた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	モニタリングや研修会を実施し、公園スタッフの知識や技能の向上に努めた。また、安全管理や危機対応に関するマニュアルに基づき公園利用者の安全確保に努めた。前年度からの課題であった花見時期の混雑解消のため、駐車場誘導員の配置を行った。また、草刈りや剪定を計画的に行い、伐採した枝葉はチップ化し環境対策にも配慮していた。園内の不法投棄に対して、迅速な処理作業を実施し、美観維持に努めた。多発した水風船によるいたずらにも適切に対応した。月1回の市担当課との連絡会を行い、苦情、修繕等について、随時報告をもらっていた。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	自主事業では、市の運動指導員と連携してノルディックウォーキング教室を開催する等、関係機関とも連携して地域に密着した事業を展開していた。 備品や消耗品の購入は市内の店から購入していた。 施設長を始めとして、施設スタッフはできる限り市内在住者を配置している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	都市公園の管理は、収入増加につながる取組が行いにくい業務である。老朽化した施設の修繕や安全管理を行うなど、限られた予算内で運営経費を抑え、ソフト事業に取り組んでいた。 水道や電気は、日常的な使用量管理を行い、事故やいたずら発生時には迅速に対応している。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	都市公園の安全性、快適性を維持しながら、新たな自主事業を行うなど利用者サービスの向上を図っていた。苦情や問題発生時には、関係部署と連携し迅速に対応を行っていた。

【今後（次年度以降）の課題等】

前年度に引き続き、大きな問題なく管理運営を行っていた。
経年劣化の進んだ施設が増加しており、適時の修繕、撤去や利用者の安全確保が第一の課題となっている。また、園内の樹木が大きく成長し、近隣住民から伐採を依頼されることもあった。指定管理者では高所作業車などの重機を所有しておらず、適時の剪定作業が実施できない。この場合、造園業者等へ委託することになるが、対象となる樹木が多数あり、費用負担の問題が今後の課題である。

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成30年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市体育施設及びランドマーク展望台
所在地	市内10施設
担当課	文化観光スポーツ課
主要施設	加西勤労者体育センター、加西テニスコート、加西球場、多目的グラウンド、加西市民グラウンド、屋内ゲートボール場スパーク加西、グリーンスポーツ広場アクアス加西、加西南テニスコート、ぜんぼうグリーンパーク、ランドマーク展望台

2. 指定管理者

指定管理者	特定非営利活動法人加西市体育協会
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	28,601,520円

3. 施設の利用状況

施設名	利用件数	利用者数	利用料収入	備考
体育センター	2,433	21,371	3,075,510円	
テニスコート	1,225	8,090	2,009,750円	
加西球場	155	11,674	1,051,820円	
市民グラウンド	110	7,628	70,200円	
多目的グラウンド	603	11,885	1,430,600円	
すぱーく加西	365	5,129	363,720円	
アクアス加西	1,132	8,408	135,600円	サッカー12～4月利用停止
加西南テニスコート	426	3,042	718,400円	
南多目的広場	109	2,376	-	
ぜんぼうグリーンパーク	87	7,245	271,600円	
ランドマーク展望台	-	6,011	-	
合計	6,645	92,859	9,007,810円	

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	A	事業計画書通りの運営ができていた。施設利用件数は前年度比101%、利用者数は101%と増加している。自主事業の卓球教室は年間50回、通年実施しており、参加者数は延べ855名となっている。施設の特性を活かした管理運営ができており、不具合発生時の対応は迅速である。施設の特性を活かした管理運営ができてい
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。		
施設の設置目的を達成できているか		

評価項目	評価	評価理由
2. 利用者の満足度	B	アンケート調査による利用者満足度は高かった。また、ご意見箱設置により利用者の要望、意見などの把握を行い施設運営に取り入れている。車いすでテニスコートを利用される方に対しても、動線を整備するなどの配慮もうかがえた。苦情等への対応も適切に行われた。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。		
施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	A	備品及び物品の管理は適切になされており、協定に即した軽微な修繕は指定管理者が迅速に対応している。天然芝グラウンドの管理についても、専門知識を勉強し適切な維持管理を行いグラウンド利用者とも良好な関係を築き、施設の利用時間や閉鎖時期を遵守いただいている。体育館においては、床のささくれ修繕や防災カーテンの取り換え、仕切りネットの更新など、協定書以上の修繕を行ってもらった。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防災防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		
4. 地域貢献	A	地元雇用は100%であり、施設の修繕や物品購入も地元業者を活用している。体育協会加盟団体と連携した施設利用を展開し、利用者増加に向けた取り組みがなされている。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	環境省推進のCo2削減キャンペーンによるライトダウンを実施すると共に新電力の導入などを行い光熱費の縮減に努めている。施設利用料も昨年度比101%となり収益増加の取組がなされている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	A	施設の修繕は迅速に行われていた。ランドマーク展望台登山ルートの補修を間伐材を利用して行った。グリーンカーテンのゴーヤを振舞うなど利用者目線に立ったユニークな取組を行い施設のイメージアップを図っている。また、市民グラウンドとぜんぼうグリーンパークに掲示板を設置し、新たな情報発信の場を設けた。予算も適正に執行され運営状況は良好である。

【今後（次年度以降）の課題等】

スポーツ団体と連携した自主事業の充実を図っていただきたい。
アンケート調査の回数を増やして、利用者ニーズの把握を行っていただきたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組がなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組がされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組がされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合

平成30年度 指定管理業務の評価結果

1. 施設の概要

施設名	加西市玉丘史跡公園
所在地	加西市玉丘町76番地
担当課	生涯学習課
主要施設	公園面積6.2ha

2. 指定管理者

指定管理者	株式会社清光社
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
指定管理料	6,480,000 円

3. 施設の利用状況

施設名	利用団体	利用者数
公園		36,730
グランドゴルフ	20組	960

4. 評価結果

評価項目	評価	評価理由
1. 事業計画の達成度	B	平成30年度の利用者数は36,730人であり、昨年度に比べ、利用者数が1.0%の増とほぼ横ばいである。 自主事業は、計画書では5件の企画が予定されていたが、3企画が実施された。計画時に内容未定で定期開催で行うとされていた事業が開催されておらず、減点材料となった。
施設利用者数および施設の利用率は向上しているか。		
事業計画どおりに自主事業が実施されたか、また自主事業の内容は適正であったか。 施設の設置目的を達成できているか		
2. 利用者の満足度	B	公園ガイダンス施設内にアンケートBOXを設置し、利用者の要望・意見の把握を実施している。 施設の平等利用については適切に対応されている。
利用者が利用しやすい環境づくりなどサービスの質の向上が図られているか。		
利用者の意見・要望を把握し運営に反映しているか、また苦情等へ適切に対応しているか。 施設の平等利用について適切に対応されているか。		
3. 適正な管理運営	B	大型遊具の導入により、幼児等を伴った親子連れの来園者が増加したが、安全面の注意喚起看板の設置など、安全対策、施設点検などは適切に行われた。 H28年度から設置された健康遊具も適切に対処できている。 ヤギが老衰により死亡したが、保健所の指導に従い適切に処理できていた。 今年度は大きな事故・事件も無く適切に対応できている。 公園内の植栽管理は順次行われている。
施設の管理運営に必要な許認可を受けているか、また、必要な有資格者等を配置しているか		
人員配置および職員管理体制が適切であるか、また各種研修等により職員の資質の向上が図られているか。		
個人情報適切に取り扱われているか。		
警備体制、事故防止等のための安全対策および防犯防災体制が十分に整っているか。		
施設・設備の法定点検等が法令基準や事業計画に基づき適切に実施されているか、また修繕や調整が適切に実施されているか。		
利用者が快適に利用できるよう施設・設備等の清掃、剪定、草刈等が実施されているか。		
業務の再委託は適切な範囲か、また再委託した業務を適切に管理しているか。		
緊急時の連絡や日常の報告など市との連絡・調整は十分に行われているか。		

評価項目	評価	評価理由
4. 地域貢献	B	一部外部委託には、地元のシルバー人材センターを活用している。
地域の団体や住民、関係機関と連携し、地域に密着した事業を展開しているか。		
雇用や物品購入において、地域住民や地元企業を活用しているか。		
5. 管理運営の効率性と収支状況	B	概ね適切に執行されている。
経費の縮減や収入増加につながる取り組みを行っているか。		
指定管理料の適切な執行など収支状況は適切であるか。		
総合評価	B	アンケート調査の実施や自主事業等の実施など、改善が行われている。 事業計画に基づき、概ね適切に実施されているが、自主事業実施に関しては改善の必要がある。 ヤギ死亡後の適正な処理、利用者への周知には見るべきものがあった。

【今後（次年度以降）の課題等】

事業計画にあげた自主事業の計画的な実施が望まれる。
平成31年度から笹塚公園も管理対象となっている、玉丘史跡公園でのノウハウを活かし適正に管理していただきたい。

【各項目の評価】

- S：協定書、業務仕様書、事業計画書（以下「協定書等」という。）を上回る取組みがなされており管理運営状況は極めて良好である。
A：協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況は良好である。
B：概ね協定書等のおおりの取組みがされており、管理運営状況も適正である。
C：協定書等の内容を一部下回っている項目があり、改善が必要と認められる点がある。
D：協定書等の内容を下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

【総合評価の評価】

- S：各項目の評価がA以上でSを含む場合
A：各項目の評価がB以上でSまたはAを3つ以上含む場合
B：各項目の評価がB以上でSまたはAが3つ未満の場合
C：各項目にCが含まれる場合（Dを含む場合を除く）
D：各項目にDが含まれる場合